

各 位

病 害 虫 防 除 所 長

平成 25 年度病虫害発生予察技術情報資料（第 6 号）の送付について

早期稲における斑点米カメムシ類（7 月下旬）の発生調査結果

早期稲（穂揃期～黄熟期）の斑点米カメムシ類の発生状況について、下記及び別添のとおり取りまとめましたので、普通期稲に対する防除指導の参考にしてください。

記

早期稲における 7 月下旬（18 日～23 日）のすくいとり調査では、一ほ場当たりの平均捕獲虫数は 5.4 頭で、7 月上～中旬調査時に比べて増加の傾向は見られず、平年（8.3 頭）と比較してやや少ない発生となっています（下表参照）。

地域別では、県東部、中央部で少発生、中西部でやや少、西部は平年並の発生となっていますが、地域によっては発生密度の高いほ場も見られます。

種別に見ると、ミナミアオカメムシは 1.0 頭（平年 2.3 頭）で少発生、クモヘリカメムシは 1.8 頭（平年 2.6 頭）でやや少発生となっていますが、これら大型種のカメムシ類は、2 頭／ほ場（捕虫網 50 回振り）が要防除水準で、わずかな発生でも斑点米発生の原因となります。

普通期稲と早期稲が混在する地域では、早期稲から飛来するカメムシ類により斑点米の発生が予想されますので、出穂期以降にカメムシ類の発生がわずかでも見られる場合には、薬剤防除が必要となります。防除適期は、出穂 10 日後およびその 5～7 日後の 2 回です。

なお、防除にあたっては、農薬安全使用の遵守および周辺の農作物への飛散防止対策について指導の徹底をお願いします。

早期稲における1ほ場あたり斑点米カメムシ類の捕獲虫数 (捕虫網 50 回振り、成幼虫数)								
		ミナミアオ カメムシ	ホソハリ カメムシ	クモヘリ カメムシ	トゲシラホシ カメムシ	アカシジ カスミカメ	その他	合計
東部	本年	0.0	0.8	0.8	0.3	2.9	0.5	5.3
	平年	3.1	0.9	2.3	0.3	3.9	0.3	10.8
中央部	本年	0.6	0.3	1.5	0.0	0.1	0.1	2.6
	平年	1.9	0.8	1.5	0.3	0.4	0.6	5.5
中西部	本年	3.1	1.1	2.9	0.2	0.3	2.2	9.8
	平年	3.9	1.4	5.3	1.0	0.6	1.1	13.3
西部	本年	1.1	1.3	2.7	0.4	2.1	2.4	10.0
	平年	1.0	1.3	2.3	0.1	1.7	1.7	8.1
県内合計	本年	1.0	0.7	1.8	0.2	0.8	0.9	5.4
	平年	2.3	1.0	2.6	0.4	1.1	0.9	8.3

